

令和 6 年度

山梨県公立小中学校

教育課程実施状況調査の結果概要

山梨県教育委員会

令和6年度 山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査の結果概要

山梨県総合教育センター

1 調査の目的

小学校及び中学校における学習指導要領に基づく教育課程の実施状況について、学習指導要領における各教科の目標や内容に照らした学習の実現状況を調査することで、指導上の課題を明らかにして、今後の学校における学習指導の改善に資する。

2 調査の実施について

対象学年	校数	受検児童生徒数	調査教科	出題範囲
小学校第6学年	15校	553人	社会	小学校第5学年の学習内容から出題
		552人	理科	
中学校第3学年	9校	505人	社会	中学校第2学年の学習内容から出題
		506人	理科	
		504人	英語	

※該当学年において、児童生徒数の約1割になるよう、無作為抽出した。

3 調査日時

区分	小学校	中学校
実施期間	令和6年4月15日（月）から5月10日（金）までの期間 学校ごと実施	
調査教科 (実施時間)	社会・理科（各40分）	社会・理科・英語（各45分）

4 各教科の主な結果

校種・学年・教科	設問数(問)	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	県ー全国(ポイント)
小・6・社会	28	61.8	62.8	－1.0
小・6・理科	30	56.5	60.3	－3.8
中・3・社会	30	51.1	53.0	－1.9
中・3・理科	33	46.9	50.5	－3.6
中・3・英語	32	47.1	50.9	－3.8

5 調査に基づく結果を踏まえた取組

①結果分析・公表

- ・学力向上フォーラム 2024（8月22日実施）

調査の分析結果を公表し、本県児童生徒の学力調査における結果と課題を共有する。

- ・授業の改善・充実に向けた説明会Ⅱ（8月27日実施）

小中学校の教諭等に向け、授業の改善・充実に向けた説明会を実施する。「授業改善指導資料」を配付し授業改善への具体例を示す。

②研修会・学校訪問

- ・分析結果を反映させた研修や学校訪問による指導等を行う。学校訪問の際には、授業観察や研究会での様子を踏まえ、適切な指導を行う。

③復習教材（デジタルフォローアップドリル）を活用した課題改善

- ・児童生徒は、結果データから明らかになった課題等に合わせた復習教材（デジタルフォローアップドリル）を活用し、課題改善を図る。

④課題のある学習内容について「ピックアップ問題」を作成及び配信

- ・各学校は、「ピックアップ問題」を用いて、調査該当学年を含め全校体制で授業改善や個別の指導に生かす。

令和6年度 教育課程実施状況調査の結果分析 小学校第6学年・社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
553	28	61.8	62.8	-1.0

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	国土の自然などの様子	59.6	62.6	-3.0
	農業や水産業	54.6	55.5	-0.9
	工業生産	69.3	69.9	-0.6
	産業と情報の関わり	64.2	65.9	-1.7
	国土の自然環境と国民生活	64.3	62.3	2.0
観点	知識・技能	65.6	65.7	-0.1
	思考・判断・表現	55.8	58.4	-2.6
	主体的に学習に取り組む態度	56.8	59.6	-2.8
解答形式	選択式	65.2	66.4	-1.2
	短答式	53.1	54.7	-1.6
	記述式	46.9	45.3	1.6

設問別正答率														
通し 番号	解答 形式	観点			領域					問題の内容	出題のねらい	県平 均正 答率 (%)	全国 平均正 答率 (%)	(ポ イン ト) 全 国 と の 差
		知	思	態	国 土	農 水	工 業	情 報	環 境					
1	選択	○			○					世界の中の国土	オーストラリアの位置と国旗を理解している。	80.5	79.1	1.4
2	選択	○			○						韓国の位置について理解している。	88.4	85.0	3.4
3	短答	○			○						日本の領土の範囲について理解している。	55.9	58.7	-2.8
4	選択	○			○					日本の国土と人々のくらし	日本の主な地形の名称と位置について理解している。	30.6	35.2	-4.6
5	短答	○			○						日本の主な地形(湖)の名称を理解している。	57.5	67.9	-10.4
6	選択		○	○	○						日本の気候の特徴について、雨温図をもとに判断している。	44.8	49.7	-4.9
7	選択		○			○				日本の農業	資料をもとに、米づくりに適した気候について考えている。	48.1	43.9	4.2
8	選択	○				○					耕地整理(圃場整理)について理解している。	81.2	83.8	-2.6

9	選択	○				○				日本の水産業	日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。	54.1	49.5	4.6
10	選択		○	○		○				日本の水産業	水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断している。	91.1	90.3	0.8
11	選択	○		○		○				日本の食料生産	日本の食料生産の理解をもとに、資料を読み取っている。	37.4	34.5	2.9
12	選択		○	○		○					食品を購入するときの基準について、場面に即して判断している。	68.0	70.9	-2.9
13	短答	○				○					食料自給率について理解している。	28.4	33.7	-5.3
14	選択		○	○		○					日本の食料生産について、適切な資料を判断している。	28.2	37.5	-9.3
15	選択	○					○			自動車をつくる工業	自動車の製造工程について理解している。	86.8	89.3	-2.5
16	選択	○					○				自動車工場を支える関連工場について理解している。	64.9	65.5	-0.6
17	記述		○	○			○				自動車の海外生産について、資料をもとに表現している。	27.8	26.3	1.5
18	選択	○					○			日本の工業生産	工業製品の分類を理解している。	88.2	92.4	-4.2
19	短答	○		○			○				日本の主な工業地帯・工業地域の出荷額をグラフにまとめている。	82.5	85.0	-2.5
20	記述		○	○			○				日本の工業の特色について、資料をもとに表現している。	66.0	64.2	1.8
21	選択	○					○				日本の貿易について資料を読み取っている。	69.1	66.5	2.6
22	選択	○						○		情報を生かした産業	さまざまなメディアの特徴について理解している。	89.2	89.6	-0.4
23	短答	○						○			マスメディアについて理解している。	41.0	28.4	12.6
24	選択		○					○			情報の発信と受信の注意点について考えている。	61.3	67.7	-6.4
25	選択		○	○				○			販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断している。	65.3	78.0	-12.7
26	選択	○							○	自然環境と国民生活	間伐について理解している。	79.4	73.3	6.1
27	選択		○						○		国内の林業が抱える課題について考えている。	45.4	42.2	3.2
28	選択		○						○		沖縄県での自然環境を守る取り組みについて考えている。	68.0	71.4	-3.4

【観点について】観点の表記の意味は下記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(国土)国土の自然などの様子 (農水)農業や水産業 (工業)工業生産

(情報)産業と情報との関わり (環境)国土の自然環境と国民生活

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
1	世界の中の国土	オーストラリアの位置と国旗を理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
2		韓国の位置について理解しているかどうかをみる。		選択
8	日本の農業	耕地整理(圃場整理)について理解しているかどうかをみる。		選択
15	自動車をつくる工業	自動車の製造工程について理解しているかどうかをみる。		選択
18	日本の工業生産	工業製品の分類を理解しているかどうかをみる。		選択
19		日本の主な工業地帯・工業地域の出荷額をグラフにまとめているかどうかをみる。		短答
22	情報を生かした産業	さまざまなメディアの特徴について理解しているかどうかをみる。		選択
10	日本の水産業	水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択

【課題がある設問】

通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
4	30.6	35.2	-4.6	知識・技能	選択
問題の内容		日本の国土と人々の暮らし			
出題のねらい		日本の主な地形の名称と位置について理解しているかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		日本の国土の様子と国民生活について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本の地形や気候にはどのような特色があるか」、「人々は地形条件や気候条件をどのようにいかしているか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、国土の位置と地形や気候を関連付けて国土の特色を考えたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の国土の地形や気候の概要について理解を目指すような展開が考えられる。また、教科用図書「地図帳」の使い方を適切に指導し、児童が個々の調べ学習において必要に応じて主体的に地図帳を活用できる等、各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能の獲得を目指すような指導が大切である。			
通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
14	28.2	37.5	-9.3	思考・判断・表現	選択
問題の内容		日本の食料生産			
出題のねらい		日本の食料生産について、適切な資料を判断しているかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		日本の食料生産について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「どこでどのようなものが生産されているか」、「生産量はどのように変化しているか」、「外国とどのような関わりがあるか」等の問いを設けて調べたり、食料生産と国民生活を関連付けて考えたりして、我が国の食料生産が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、資料をもとに根拠や理由を明確にして議論したりするような展開が考えられる。また、小学校学習指導要領解説社会編の参考資料に示されている、「社会的事象について調べまとめる技能」を踏まえ、発達段階に合わせた技能習得に向けた繰り返しの指導が大切である。			
通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
25	65.3	78.0	-12.7	思考・判断・表現	選択
問題の内容		情報を生かした産業			
出題のねらい		販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断できるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		産業における情報活用の現状について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「その産業ではどのような情報を集めているか」、「情報をどのように活用しているか」等の問いを設けて調べ、情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、根拠や理由を明確にして議論したりするような展開が考えられる。また、小学校学習指導要領解説社会編の参考資料に示されている、「社会的事象について調べまとめる技能」を踏まえ、発達段階に合わせた技能習得に向けた繰り返しの指導が大切である。			

令和6年度 教育課程実施状況調査の結果分析 小学校第6学年・理科

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
552	30	56.5	60.3	-3.8

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	物質・エネルギー	50.3	56.2	-5.9
	生命・地球	59.2	62.0	-2.8
観点	知識・技能	63.9	68.3	-4.4
	思考・判断・表現	50.8	54.1	-3.3
	主体的に学習に取り組む態度	59.8	62.0	-2.2
解答形式	選択式	58.3	61.4	-3.1
	短答式	56.1	63.0	-6.9
	記述式	45.1	46.9	-1.8

設問別正答率							問題の内容	出題のねらい	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	(ポイントとの差) 全国との差
通し番号	解答形式	観点			領域						
		知	思	態	物工	生地					
1	選択		○			○	天気の変化	雲画像や雲のようすから住んでいる地域を推測できる。	35.1	33.5	1.6
2	短答	○				○		この時期の雲が西から東のほうへ動くことを理解している。	53.6	67.8	-14.2
3	選択		○			○		資料をもとに、台風の風の強さが特に強い場所を推測できる。	31.2	34.5	-3.3
4	選択	○		○		○		台風に備えて、身の安全のために適切な行動を理解している。	90.2	90.5	-0.3
5	短答	○				○	人のたんじょう	胎児は、子宮で育つことを理解している。	74.5	77.8	-3.3
6	選択	○				○		胎児と母親の間での物質のやりとりのしくみを理解している。	74.5	86.5	-12.0
7	選択	○		○		○	魚のたんじょう	メダカのめすとおすの見分け方を理解している。	73.9	66.3	7.6
8	選択	○				○		メダカの受精直後のたまごのようすを理解している。	52.5	53.9	-1.4
9	選択		○			○		メダカのたまごの孵化に関するグラフを読み取り、分析できる。	45.8	43.7	2.1

10	記述		○	○		○		受粉が必要かどうかを確かめる実験について、改善の方法を説明できる。	57.2	56.0	1.2
11	短答	○				○	植物の花のつくりと実	実はめしべの一部が変化したものであることを理解している。	36.1	40.9	-4.8
12	短答		○			○		グラフから、実が育つ割合と虫が花にきた回数の関係を分析できる。	55.8	55.6	0.2
13	短答	○				○		侵食について理解している。	49.6	57.0	-7.4
14	選択		○			○	流れる水のはたらき	流れる水のはたらきについて、予想が正しかった場合に得られる実験の結果を推測できる。	58.2	62.7	-4.5
15	記述		○	○		○		流れる水のはたらきについて、目的の結果を得るための実験の方法を構想し、説明できる。	58.9	60.7	-1.8
16	選択		○			○		種子の発芽に空気が必要かどうかを確かめるための適切な対照実験を指摘できる。	62.7	67.5	-4.8
17	短答		○			○	植物の発芽と成長	実験の結果から、種子の発芽に必要な条件を推測できる。	67.0	75.6	-8.6
18	選択		○			○		袋に入って販売されている種子が発芽しない理由を指摘できる。	60.7	63.4	-2.7
19	選択	○				○		成長したなえの子葉にでんぷんがふくまれない理由を理解している。	81.3	86.5	-5.2
20	選択	○				○	けんび鏡の使い方	観察に適した顕微鏡の種類を理解している。	65.2	62.2	3.0
21	選択	○		○		○		顕微鏡の使い方を身に付けている。	58.2	59.6	-1.4
22	選択		○		○		電流のはたらき	ごみ処理場での電磁石の利用方法から、電磁石の性質を指摘できる。	69.4	71.4	-2.0
23	選択		○		○			引きつけたゼムクリップの数から、コイルの巻き数と乾電池のつなぎ方を推測できる。	43.7	48.4	-4.7
24	選択		○		○			2つの実験の結果のちがいがから、電磁石の力の強さを変える要因を指摘できる。	46.4	52.8	-6.4
25	選択	○		○	○		ふりこのきまり	ふりこの周期の測定方法を理解している。	59.2	63.6	-4.4
26	選択		○		○			実験の方法と結果から、ふりこの条件を推測できる。	46.0	53.5	-7.5
27	選択		○		○			ふりこの周期を理解し、実験の結果を推測できる。	51.1	51.3	-0.2
28	短答		○		○		物のとけ方	塩水を熱する作業によって塩をとり出していることを指摘できる。	55.8	66.0	-10.2
29	選択	○		○	○			ろ過のしかたを身に付けている。	61.6	75.2	-13.6
30	記述		○	○	○			グラフをもとに、食塩水を冷やした際の実験の結果を推測し、その理由を説明できる。	19.2	23.9	-4.7

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】（知）知識・技能 （思）思考・判断・表現 （態）主体的に学習に取り組む態度
【領域について】（物工）物質・エネルギー （生地）生命・地球

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
4	天気の変化	台風に備えて、身の安全のために適切な行動を理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
5	人のたんじょう	胎児は、子宮で育つことを理解しているかどうかをみる。		短答
6		胎児と母親の間での物質のやりとりのしくみを理解しているかどうかをみる。		選択
7	魚のたんじょう	メダカのめすとおすの見分け方を理解しているかどうかをみる。		選択
19	植物の発芽と成長	成長したなえの子葉にでんぷんがふくまれない理由を理解しているかどうかをみる。		選択

【課題がある設問】

通し番号	県平均正答率（％）	全国平均正答率（％）	全国との差（ポイント）	観点	出題形式
2	53.6	67.8	-14.2	知識・技能	短答
問題の内容		天気の変化			
出題のねらい		この時期の雲が西から東のほうへ動くことを理解しているかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		問題解決を通して習得した知識を活用して、学習の成果を日常生活との関わりの中で捉えなおす場面を設定する。ICT機器等を活用し気象衛星などから得た雲の動きの情報を、実際に地域の空で体験的に捉えなおすことで、学習内容をより深く理解させることが大切である。さらに地域に伝わる天気のことわざを調べ、天気と雲の様子の変化を捉えさせるような学習活動も考えられる。			
通し番号	県平均正答率（％）	全国平均正答率（％）	全国との差（ポイント）	観点	出題形式
24	46.4	52.8	-6.4	思考・判断・表現	選択
問題の内容		電流のはたらき			
出題のねらい		2つの実験の結果のちがいを、電磁石の力の強さを変える要因を指摘できるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		一人一人が問題に対して根拠のある予想や仮説をたて、問題を解決するまでの道筋を構想し、解決の方法を発想する場面を設定する。その際に、「条件を制御する」という理科の「考え方」を意識させる。変える条件と変えない条件を整理することで、予想や仮説を検証するために何に目を向けるのかを明確にしていくことが大切である。			
通し番号	県平均正答率（％）	全国平均正答率（％）	全国との差（ポイント）	観点	出題形式
29	61.6	75.2	-13.6	知識・技能	選択
問題の内容		物のとけ方			
出題のねらい		ろ過のしかたを身に付けているかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		一人一人が実験に関する基本的な技能を身に付けることができるようにする。器具の操作に関する手順の理解を図るとともに、間違えやすい事例を教師が演示し、器具を使用する目的や操作の意味を捉えることができる場面を設定する。また、実験を行う際には、ICT機器等を活用し、器具の使用方法に関する動画を提示したり児童が繰り返し視聴したりすることも考えられる。			

令和6年度 教育課程実施状況調査の結果分析 中学校第3学年・社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
505	30	51.1	53.0	-1.9

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	地理	52.3	55.4	-3.1
	歴史	49.8	50.5	-0.7
観点	知識・技能	53.3	53.8	-0.5
	思考・判断・表現	48.5	52.0	-3.5
	主体的に学習に取り組む態度	41.2	43.1	-1.9
解答形式	選択式	52.5	53.3	-0.8
	短答式	59.6	64.1	-4.5
	記述式	17.4	26.6	-9.2

設問別正答率											
通し 番号	解 答 形 式	観 点			領 域		問題の内容	出題のねらい	県 平 均 正 答 率 (%)	全 国 平 均 正 答 率 (%)	全 国 と の 差 (ポ イ ン ト)
		知	思	態	地	歴					
1	選択	○			○		日本の地域的特色と地域区分	日本の地形の特色について理解している。	39.0	49.2	-10.2
2	選択		○		○			日本の自然災害(地震)による被害についての理解をもとに判断している。	88.9	91.1	-2.2
3	記述		○	○	○			日本の資源・エネルギーにかかわる課題について、資料をもとに考察し表現している。	25.3	37.6	-12.3
4	選択	○		○	○			日本の漁業や海洋の特色についての理解をもとに、複数の資料を関連付けて読み取っている。	45.7	49.1	-3.4
5	選択	○			○		日本の諸地域	日本の各地方の自然環境について理解している。	64.6	65.3	-0.7
6	短答	○			○			関東地方の自然環境について理解している。	72.7	79.3	-6.6
7	選択		○		○			九州地方の工業の特色について、資料をもとに判断している。	36.4	40.2	-3.8
8	選択	○			○			中部地方の農業の特色について理解している。	29.5	21.0	8.5
9	選択		○		○			北海道地方の酪農について考察している。	73.5	81.5	-8.0
10	選択		○	○	○			近畿地方や中部地方の工業の特色についての理解をもとに、地図に着目して判断している。	36.2	36.1	0.1

11	短答	○			○			地域調査の手法	扇状地について理解している。	51.7	55.8	-4.1
12	選択		○		○				地形図から読み取れる地形と気候の特色について考察している。	76.2	81.6	-5.4
13	選択	○		○	○				地図記号の理解をもとに、地形図を読み取っている。	65.5	64.5	1.0
14	選択	○					○		ルネサンスや大航海時代について理解している。	38.4	32.0	6.4
15	選択	○					○		ヨーロッパとイスラム世界との交流について理解している。	59.0	52.3	6.7
16	選択	○					○	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	織田信長による統一事業について、資料を読み取っている。	61.4	66.1	-4.7
17	選択	○					○		織田信長による統一事業について理解している。	71.1	52.3	18.8
18	選択		○				○		豊田秀吉による対外政策について、資料をもとに判断している。	60.2	62.7	-2.5
19	選択		○				○		徳川家光が改定した武家諸法度の内容について判断している。	54.9	62.7	-7.8
20	選択		○	○			○		江戸時代の大阪の蔵屋敷が集中していた地域について、資料をもとに判断している。	67.7	67.9	-0.2
21	短答	○					○	江戸時代	蘭学について理解している。	52.5	63.1	-10.6
22	選択		○				○		幕府の政治改革や欧米諸国の接近について、資料をもとに判断している。	33.5	34.3	-0.8
23	選択		○	○			○		開国による日本の社会への影響について、複数の資料をもとに判断している。	41.6	38.2	3.4
24	選択	○					○		地租改正について、資料を読み取っている。	43.7	49.9	-6.2
25	短答	○					○		殖産興業について理解している。	61.9	58.2	3.7
26	選択	○					○	明治時代	板垣退助による政党結成について理解している。	47.8	53.1	-5.3
27	選択		○				○		大日本帝国憲法の制定について、資料をもとに考察している。	44.4	48.9	-4.5
28	選択		○	○	○			日本の地域的特色と地域区分	日本の工業の特色についての理解をもとに判断している。	30.7	30.0	0.7
29	選択	○		○	○				日本の農業の特色について、複数の資料を関連付けて読み取っている。	48.3	49.1	-0.8
30	記述		○	○			○	明治時代	幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し、表現している。	9.5	15.6	-6.1

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】（知）知識・技能 （思）思考・判断・表現 （態）主体的に学習に取り組む態度

【領域について】（地）地理 （歴）歴史

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
6	日本の諸地域	関東地方の自然環境について理解しているかどうかをみる。	知識・技能	短答
17	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	織田信長による統一事業について理解しているかどうかをみる。		選択
2	日本の地域的特色と地域区分	日本の自然災害(地震)による被害についての理解をもとに判断しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択
9	日本の諸地域	北海道地方の酪農について考察しているかどうかをみる。		選択
12	地域調査の手法	地形図から読み取れる地形と気候の特色について考察しているかどうかをみる。		選択

【課題がある設問】

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
1	39.0	49.2	-10.2	知識・技能	選択
問題の内容		日本の地域的特色と地域区分			
出題のねらい		日本の地形の特色について理解しているかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		地理的事象や関連する語句の伝達だけでなく、日本の地形の特色に関する課題などを設定し、フォッサ・マグナを境にして分けた地域区分を比較し、共通点や差異、分布の傾向性に着目して、多面的・多角的に考察し、国内を大きく区分して見ると、西南日本には東西の方向に、東北日本には南北の方向に背骨のように山脈が走ること等の知識を基に、その結果を表現できるよう展開が考えられる。また、地図帳を十分に活用しながら日本全体としての地域的特色を理解することが大切である。			
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
19	54.9	62.7	-7.8	思考・判断・表現	選択
問題の内容		江戸時代			
出題のねらい		徳川家光が改訂した武家諸法度の内容について判断できるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		歴史的事象や関連する語句の伝達だけでなく、「統一政権の諸政策の目的」などに着目して課題（問い）を設定し、個々の生徒が、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどを考察し、これらの考察の結果を表現する活動などを工夫して、幕府と藩による支配が確立したことの理解を目指すという展開が考えられる。			
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
30	9.5	15.6	-6.1	思考・判断・表現	記述
問題の内容		明治時代			
出題のねらい		幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し、表現できるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		歴史的事象や関連する語句の伝達だけでなく、「社会の変化と幕府の政策の変化」などに着目して課題（問い）を設定し、近世社会の基礎が動揺していったことに気付くことができるようにするとともに、江戸時代後半の外国船の接近や、それに対応した幕府による北方の調査や打払令などを扱い、それらの背景について考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことの理解を目指すという展開が考えられる。			

令和6年度 教育課程実施状況調査の結果分析 中学校第3学年・理科

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
506	33	46.9	50.5	-3.6

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	エネルギー	45.6	47.9	-2.3
	粒子	48.1	51.2	-3.1
	生命	53.6	57.9	-4.3
	地球	38.4	43.0	-4.6
観点	知識・技能	51.0	54.8	-3.8
	思考・判断・表現	41.4	44.6	-3.2
	主体的に学習に取り組む態度	40.1	42.1	-2.0
解答形式	選択式	48.8	52.6	-3.8
	短答式	50.3	53.4	-3.1
	記述式	22.2	26.1	-3.9

設問別正答率												
通し 番号	解答 形式	観点			領域			問題の内容	出題のねらい	県 平均 正答 率 (%)	全 国 平 均 正 答 率 (%)	(ポ イ ン ト の 差)
		知	思	態	エ ネ	粒 子	生 命					
1	選択	○				○		物質の成り立ち	原子の性質について理解している。	61.5	68.4	-6.9
2	短答	○				○			化合物について理解している。	35.6	42.9	-7.3
3	選択		○			○		化学変化	エタノールの燃焼のモデルの誤りを見直し、改善できる。	40.3	45.0	-4.7
4	選択	○		○		○		化学変化	ガスバーナーの使い方を身に付けている。	55.1	51.0	4.1
5	短答	○				○			発熱反応について理解している。	63.4	61.2	2.2
6	選択		○			○			実験の結果について、正しくない発言をしている人を指摘できる。	50.6	53.9	-3.3
7	短答	○				○		物質の成り立ち	炭酸水素ナトリウムの化学式を理解している。	20.4	25.8	-5.4
8	短答	○				○		化学変化と物質の 質量	炭酸水素ナトリウムと塩酸を反応させると、二酸化炭素が発生することを理解している。	58.5	59.5	-1.0
9	短答		○			○			質量保存の法則を確かめるために、実験の方法を改善できる。	47.2	53.0	-5.8

10	選択	○					○	生物と細胞	動物の細胞について理解している。	51.8	54.1	-2.3
11	選択	○					○		植物の器官について理解している。	54.3	52.7	1.6
12	選択	○		○			○		葉にワセリンをぬる理由を理解している。	78.7	81.1	-2.4
13	選択		○				○	植物のからだのつくりとはたらき	葉の裏から出ていった水の量の求め方を指摘できる。	17.6	20.2	-2.6
14	短答	○					○		蒸散について理解している。	63.6	68.5	-4.9
15	選択		○				○	動物のからだのつくりとはたらき	貧血の原因が赤血球やヘモグロビンと関係していることを推測できる。	65.8	72.9	-7.1
16	選択	○					○		アンモニアの排出について理解している。	26.7	39.7	-13.0
17	選択		○				○	動物のからだのつくりとはたらき	だ液のはたらきを調べるための対照実験を構想できる。	55.9	54.6	1.3
18	選択	○					○		だ液にふくまれている消化酵素がアミラーゼであることを理解している。	68.2	76.9	-8.7
19	選択	○					○	気象の観測	圧力の求め方を理解している。	33.4	40.5	-7.1
20	短答	○					○		飛行機に乗って上空にいるときに、ふたをしたペットボトルがへこんでしまった理由について理解している。	48.0	53.4	-5.4
21	短答	○					○	前線の通過と天気の変化	温暖前線と寒冷前線の前線面の断面と雲のようすを理解している。	26.3	31.6	-5.3
22	記述		○	○			○		グラフや天気図の記号を分析し、寒冷前線が通過したことを説明できる。	30.2	38.0	-7.8
23	短答	○			○			電流の性質	電熱線の抵抗の大きさを求めることができる。	61.7	58.6	3.1
24	短答		○		○				結果のグラフから、電熱線に電流を流す時間と水の上昇温度の関係を推測できる。	74.9	73.7	1.2
25	記述		○	○	○				並列でつないだ方が、電熱線による水の上昇温度が大きくなることを説明できる。	10.5	11.9	-1.4
26	選択		○		○			電流と磁界	磁界の中で電流の大きさを変えたときのコイルのようすを指摘できる。	32.2	39.3	-7.1
27	選択	○			○				電流の向きを逆にすると、コイルの動く向きが逆になる理由を理解している。	53.4	59.2	-5.8
28	選択	○					○	日本の気象	梅雨前線について理解している。	45.7	47.8	-2.1
29	選択		○				○		まとめから、ゲリラ豪雨と線状降水帯の特徴について推測できる。	44.5	44.1	0.4
30	短答		○				○		近年、日本海側で降る雪の量が増えている理由を推測できる。	40.5	45.3	-4.8
31	短答	○			○			電流の正体	静電気について理解している。	63.2	67.5	-4.3
32	記述		○	○	○				粉末インクが帯電していない部分以外に付着しない理由を説明できる。	25.9	28.3	-2.4
33	選択		○		○				感光体の全体に光を当てた状態でコピーしたときの結果を推測できる。	43.1	44.8	-1.7

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】（知）知識・技能 （思）思考・判断・表現 （態）主体的に学習に取り組む態度
【領域について】（エネ）エネルギー （粒子）粒子 （生命）生命 （地球）地球

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
12	植物のからだのつくりとはたらき	葉にワセリンをぬる理由を理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
24	電流の性質	結果のグラフから、電熱線に電流を流す時間と水の上昇温度の関係を推測できる。	思考・判断・表現	短答

【課題がある設問】

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
16	26.7	39.7	-13.0	知識・技能	選択
問題の内容		動物のからだのつくりとはたらき			
出題のねらい		アンモニアの排出について理解しているかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		体内に取り込まれた物質がどのようにして体外へ排出されるのかを、モデル図を用いながら、学習他者と対話したり、自分の考えを修正したりしながら学習を進めていくことが大切である。			
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
22	30.2	38.0	-7.8	思考・判断・表現	記述
問題の内容		前線の通過と天気の変化			
出題のねらい		グラフや天気図の記号を分析し、寒冷前線が通過したことを説明できるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		寒冷前線は、前線通過後に気温が低くなるだけでなく、前線を形成する冷たい空気と押し上げられる温かい空気がぶつかる前線面沿いに積雲ができる。このことを、理科の見方・考え方を働かせながら、立体的なモデル実験を通して気温や湿度、風向き、雲の形成方法などを多面的に捉え、前線通過前後の変化を見つけ出すような探究的な授業を展開することが大切である。			
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
26	32.2	39.3	-7.1	思考・判断・表現	選択
問題の内容		電流と磁界			
出題のねらい		磁界の中で電流の大きさを変えた時のコイルのようすを指摘できるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		電流が磁界から受ける力の向きは、電流の流れる方向が変わると逆になる。このことを、理科の見方・考え方を働かせながら、電気ブランコの実験装置を使って目に見えない電流や磁界の向きを視覚化する。そして、電流の流れる向きを変えたり、磁石の位置を変えたりすることで、電流と磁界の関係を比較するような探究的な授業を展開することが大切である。			

令和6年度 教育課程実施状況調査の結果分析 中学校第3学年・英語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
504	32	47.1	50.9	-3.8

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	聞くこと	51.5	53.3	-1.8
	読むこと	53.6	59.5	-5.9
	書くこと	32.7	34.9	-2.2
観点	知識・技能	59.6	64.1	-4.5
	思考・判断・表現	31.0	33.8	-2.8
	主体的に学習に取り組む態度	19.1	20.0	-0.9
解答形式	選択式	56.2	60.9	-4.7
	短答式	41.8	45.0	-3.2
	記述式	19.9	20.7	-0.8

設問別正答率												
通し 番号	解 答 形 式	観 点			領 域			問題の内容	出題のねらい	県 平 均 正 答 率 (%)	全 国 平 均 正 答 率 (%)	(ポ イ ン ト) 全 国 と の 差
		知	思	態	聞	読	書					
1	選択	○			○			リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(禁止の命令文)	49.0	44.5	4.5
2	選択	○			○				絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(時制と天気)	85.1	91.5	-6.4
3	選択	○			○				絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(比較表現)	62.7	63.2	-0.5
4	選択	○			○			リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、適切に応答している。(弟と公園で遊んでくれないかとたずねられて)	74.8	78.5	-3.7
5	選択		○		○				対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に応答している。(なぜそれを作っているのかとたずねられて)	36.3	37.2	-0.9
6	選択		○		○				対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に応答している。(所有物を使用しているかとたずねられて)	65.7	69.7	-4.0
7	選択		○		○			リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、必要な情報を把握している。	40.5	43.9	-3.4

8	選択		○		○		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、要点を捉えている。	29.8	33.1	-3.3
9	記述		○	○	○		リスニング(対話文の応答)	英文を聞き、その要点を捉えて自分の考えを書いている。	19.8	18.4	1.4
10	選択	○				○	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(There are ～の文)	67.7	73.7	-6.0
11	選択	○				○		対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(lookを用いたSVCの文)	71.6	69.1	2.5
12	選択	○				○		対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(副詞的用法の不定詞)	65.5	65.9	-0.4
13	選択	○				○		対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(最上級)	61.1	70.8	-9.7
14	選択	○				○	語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	80.0	89.2	-9.2
15	選択	○				○			58.1	68.2	-10.1
16	選択		○			○	さまざまな英文の読み取り	発表のための原稿を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいる。	44.2	53.9	-9.7
17	選択		○			○		ポスターを読み、必要な情報がどの部分にあるかを把握して、適切な箇所を選んでいる。	52.4	58.1	-5.7
18	選択	○				○		対話を読み、対話の流れと資料から、文脈に応じた語句を選んでいる。	62.3	71.1	-8.8
19	選択		○			○		対話を読み、対話の流れと資料から、必要な情報を把握して適切な金額を選んでいる。	31.9	36.8	-4.9
20	選択	○				○	長文の読み取り	メールを読み、その内容を理解している。	43.7	46.2	-2.5
21	選択	○				○		メールを読み、代名詞itが指す内容を理解している。	53.2	63.2	-10.0
22	選択	○				○		メールを読み、その内容を理解している。	44.2	50.5	-6.3
23	短答		○	○		○		メールを読み、その概要を捉えて英文を完成させている。	14.3	16.0	-1.7
24	短答	○				○	単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(動名詞)	53.6	58.4	-4.8
25	短答	○				○		文の語順を理解し、正確に書いている。(giveを用いたSVOOの文)	59.3	59.9	-0.6
26	短答	○				○		文の語順を理解し、正確に書いている。(形容詞的用法の不定詞)	28.0	34.1	-6.1
27	短答	○				○		文の語順を理解し、正確に書いている。(比較級)	53.8	56.6	-2.8
28	記述		○	○		○	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を、相手に伝えるように書いている。(部員数をたずねる)	5.6	10.7	-5.1
29	記述		○	○		○		対話の流れに合った英文を、相手に伝えるように書いている。(見た場所をたずねる)	15.7	16.2	-0.5
30	記述		○	○		○	3文以上の英作文	学校の制服について、自分の考えや意見を相手に伝えるように書いている。	32.9	33.1	-0.2
31	記述		○	○		○		学校の制服について、自分の考えに対する理由や説明を、相手に伝えるように書いている。	30.6	30.2	0.4
32	記述		○	○		○		学校の制服に対する自分の考えや意見について、まとめた内容で紹介する英文を、相手に伝えるように書いている。	14.7	15.3	-0.6

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度
【領域について】(聞)聞くこと (読)読むこと (話)話すこと

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
2	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解しているかどうかをみる。(時制と天気)	知識・技能	選択
4	リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、適切に応答しているかどうかをみる。(弟と公園で遊んでくれないかとたずねられて)		選択
11	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(lookを用いたSVCの文)		選択
14	語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解しているかどうかをみる。		選択

【課題がある設問】

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
15	58.1	68.2	-10.1	知識・技能	選択
問題の内容		語彙の知識・理解			
出題のねらい		対話文の情報を読み取り、その内容を理解しているかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		帯活動やSmall Talkを通し、意味のある文脈の中で既習事項を繰り返し使用させることが必要である。また、自らの考えをただ一言で伝えるのではなく、接続詞などを活用して自身の考えの理由や根拠を伝える言語活動を継続的に実施し、適切なフィードバックを与えながら言語面の正確性と内容面の適切さについて指導することが大切である。			
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
16	44.2	53.9	-9.7	思考・判断・表現	選択
問題の内容		さまざまな英文の読み取り			
出題のねらい		発表のための原稿を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		文章のあらすじや流れを読み取る力や、理解できる英文をもとに文章全体や詳細について推測する力を生徒につけさせたい。課題改善のために、リーディング活動の際には、各段落のタイトルをつける活動、段落と段落の関係を図示する活動、書き手が最も伝えたい部分を探し線を引く活動、要約文を書く活動などが考えられる。			
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
28	5.6	10.7	-5.1	思考・判断・表現	記述
問題の内容		場面に応じて書く英作文			
出題のねらい		対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いているかどうかをみる。(部員数をたずねる。)			
学習の指導に当たって		会話の流れを読み取る力をつけるために、普段から文脈のある文章や言語活動を準備し指導を行う必要がある。また、話したり書いたりする場面において、生徒に単語やフレーズではなく文表現をさせることも重要である。他にも、生徒は小学校外国語活動・外国語科の学習を通して様々な問いかけについて学んでいることから、小学校の学習内容や言語活動を中学校の教員が把握し、学びを引き継ぐ小中連携を意識した指導を行っていく必要がある。			